

大阪桐蔭高等学校硬式野球部監督

西谷 浩一 氏

講演会

演目

高校野球の指導者とは
～野球を通じての人間形成～

西谷 浩一（ニシタニ コウイチ）プロフィール

大学卒業後、母校・報徳学園でコーチを一時務め、後に大阪桐蔭高等学校に移る。

大阪桐蔭では1993年から部長を務め、1998年11月に監督就任。2001年に一度コーチに退いた後、2002年秋から再び監督として指揮を執る。2008年夏の選手権では浅村栄斗を中心とした強力打線で自身初、同校としては2度目の全国制覇を成し遂げる。2012年春のセンバツでは例年通りの強力打線に、藤浪晋太郎、森友哉のバッテリーを擁して同校、自身としても初のセンバツ制覇を果たす。同年夏の選手権は対戦相手に一度もリードを許さない圧倒的な野球を展開し史上7校目の春夏連覇を達成。自身としては春夏合わせて3度目の全国制覇を成し遂げた。さらに秋に行われた岐阜国体でも優勝し、松坂大輔を擁した横浜高校以来となる史上3校目の「三冠」を達成した。日本代表監督として第26回18U野球ワールドカップに出場。1次ラウンドを5戦全勝で突破し、2次ラウンドは4勝1敗で決勝戦進出。決勝ではアメリカに2-3で惜敗したものの日本勢としては2004年大会以来となる準優勝を果たした。

西岡剛（高校通算42本塁打）、中村剛也（同83本塁打）、中田翔（同87本塁打）、平田良介（同70本塁打）、浅村栄斗（同22本塁打）、森友哉（同41本塁打）、根尾昂（同32本塁打）、藤原恭大（同34本塁打）など、多くの超高校級スラッガーをプロへ輩出している。また、投手も岩田稔、150キロ左腕の辻内崇伸、春夏連覇を成し遂げた藤浪晋太郎、澤田圭佑らがプロ入りした。春夏それぞれ4度の優勝と春夏通算8度の優勝はともに歴代最多。甲子園連覇の3度達成は監督として史上初の記録である。2019年に第6回ジャパンコーチアワード最優秀コーチ賞を受賞している。

甲子園での成績

春：出場13回・33勝8敗・勝率.805・優勝4回（2012年、2017年、2018年、2022年）

夏：出場10回・36勝6敗・勝率.857・優勝4回（2008年、2012年、2014年、2018年）

通算：出場23回・69勝14敗・勝率.831・優勝8回

2023年

日時

6月 8日 土

18:30～（18:00開場）

場所

阿南市情報文化センター
コスモホール

入場無料（要事前申し込み）

※定員に達した場合は受付を締め切ります

総集定員
500名
申込先着順

詳しい
問い合わせ



まとめて
アクセス出来ます



【観覧お申し込み方法】

※以下、いずれかの方法でお申し込みください

※1回のお申し込みにつき2名様までとなります

メール

cosmo.hanoura.anan@gmail.com宛てに、

1. お名前 2. 電話番号 3. 参加希望人数

を記入して送信ください。



電話

0884-44-5000(阿南市情報文化センター)にお電話いただき、

1. お名前 2. 電話番号 3. 参加希望人数

をお伝えください。

access map

アクセスマップ

● JR牟岐線 羽ノ浦駅より徒歩約10分

● 徳島バス 富岡・橘線 / 丹生谷線羽ノ浦南停留所下車徒歩約3分

